

2017年3月期

IR説明会

株式会社 極 洋 (証券コード: 1301)

<http://www.kyokuyo.co.jp>

食卓に、海のおいしさとおどろきを。



<http://www.seamarche.jp>



目次



2017年3月期の概況

- ・当社を取りまく環境 3ページ
- ・トピックス 4～ 5ページ

2017年3月期 決算概要

- ・計算書類 7～15ページ
- ・事業セグメント別の状況 16～22ページ

2018年3月期 施策及び業績予想

- ・事業セグメント別の施策 24～25ページ
- ・業績予想 26～27ページ
- ・設備投資計画 28ページ



2017年3月期の概況

経済・社会情勢

- 雇用や所得環境の改善が進む
 - 個人消費の低迷
 - 新興国経済の成長鈍化や欧米政治リスクの経済への影響
- } 実感のない景気回復

水産・食品業界

- 食の安心・安全に対する高い関心
- 少子高齢化による国内マーケットの変化
- 人手不足による労働コストの増加
- 世界的な水産物需要の増大による買付コストの上昇



トピックス



□ 株式併合と単元株式数の変更を発表 【5月】

全国証券取引所による「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨を尊重し、当社の単元株式数を1,000株から100株に変更すると同時に10株を1株に併合することを発表。

- ・ 効力発生日 : 平成28年10月1日

□ 新しい経営体制がスタート 【6月】

多田久樹会長、今井賢司社長による新体制が発足。

□ 極洋水産(株)惣右衛門工場を設立 【8月】

需要が拡大するネギトロ製品を原料の調達から生産、販売まで一貫して行い、原料集積地の焼津地区に冷凍ネギトロに特化し機械化したラインで効率的なローコストオペレーションを実現。

□ 冷蔵運搬船事業を整理 【9月】

海運市況の悪化などから事業の見直しを進めた結果、冷蔵運搬船事業を整理することとし、保有冷蔵運搬船3隻の全てを売却。



トピックス



□ 株主優待制度の変更を発表 【1月】

2018年以降、毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された100株以上300株未満所有の株主には2,500円相当の当社製品、300株以上所有の株主には6,000円相当の当社製品を贈呈することを発表。

□ 創立80周年の記念配当を発表 【2月】

2017年3月期の年間配当金は創立80周年の記念配当10円を加え、1株当たり60円とすることを発表。

□ 指宿食品(株)が対米HACCPを取得 【3月】

鹿児島県の指宿食品(株)がカツオ・マグロのロイン加工及びたたき加工についての対米HACCPの認証を取得。

□ 日本カヌー連盟への協賛を発表 【3月】

創立80周年を迎えるに際して、これまでも親しみの深かった公益社団法人日本カヌー連盟のオフィシャルパートナーとして、日本代表選手をはじめ同連盟の活動を応援、サポートしていくことを決定。



2017年3月期 決算概要



計算書類



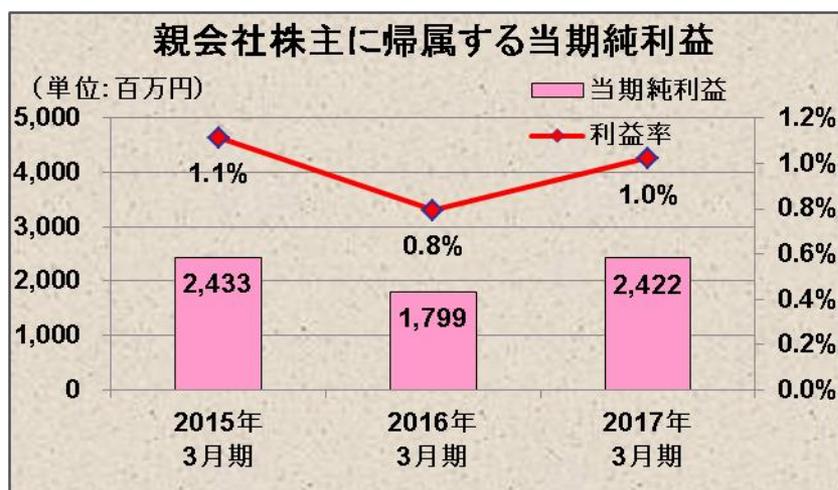
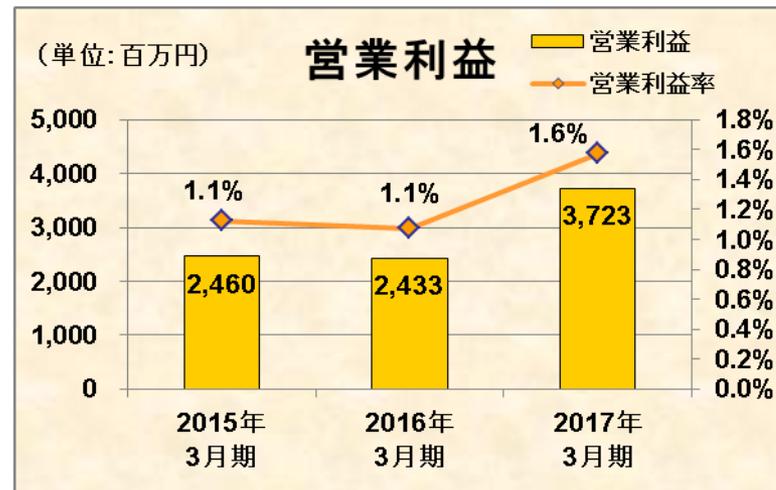
1. 連結損益計算書

(単位:百万円)

	実績		前期比		当初予想	当初予想比	
	連結累計期間		(増減金額)	(増減比率)	連結累計期間	(増減金額)	(増減比率)
	2016年3月期 (前期)	2017年3月期 (当期)			2017年3月期 (当期)		
売上高	226,626	236,561	9,934	4.4%	244,000	△7,438	△3.0%
営業利益	2,433	3,723	1,290	53.0%	3,500	223	6.4%
営業外収益	698	764	66	—	—	—	—
営業外費用	317	779	461	—	—	—	—
経常利益	2,814	3,709	894	31.8%	3,300	409	12.4%
特別利益	428	651	222	—	—	—	—
特別損失	681	458	△222	—	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,799	2,422	623	34.6%	2,100	322	15.4%

- ・当初予想：2016年5月9日に発表した2017年3月期業績予想数値
- ・売上高：水産商事と鰹・鮪が伸張し、前期比99億円の増収
- ・営業利益：水産商事と冷凍食品、鰹・鮪の収支改善などにより前期比12億円の増益
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益：所有船舶の売却益などにより前期比6億円の増益

2. 連結業績の推移





計算書類



3. 個別損益計算書

(単位:百万円)

	実績		前期比		当初予想 累計期間	当初予想比	
	2016年3月期 (前期)	2017年3月期 (当期)	(増減金額)	(増減比率)	2017年3月期 (当期)	(増減金額)	(増減比率)
売上高	216,350	228,083	11,732	5.4%	232,000	△3,916	△1.7%
営業利益	2,211	3,187	975	44.1%	2,800	387	13.8%
経常利益	2,432	2,835	403	16.6%	2,700	135	5.0%
当期純利益	1,259	2,194	935	74.3%	1,800	394	21.9%

- ・当初予想：2016年5月9日に発表した2017年3月期業績予想数値
- ・売上高：水産商事と冷凍食品、鰹・鮪が伸長し、前期比117億円の増収
- ・営業利益：水産商事と冷凍食品、鰹・鮪の収支改善などにより前期比9億円の増益



計算書類

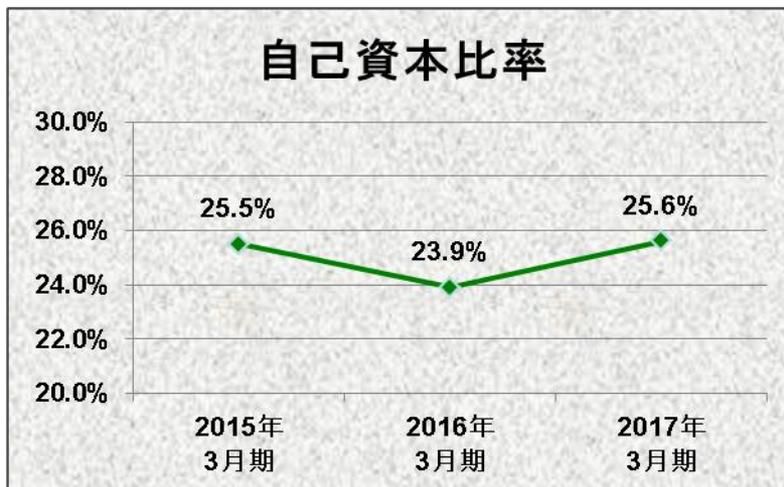
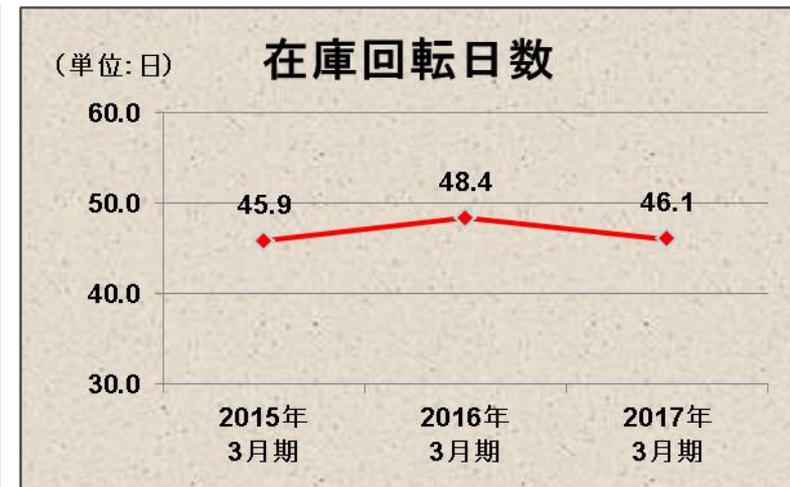
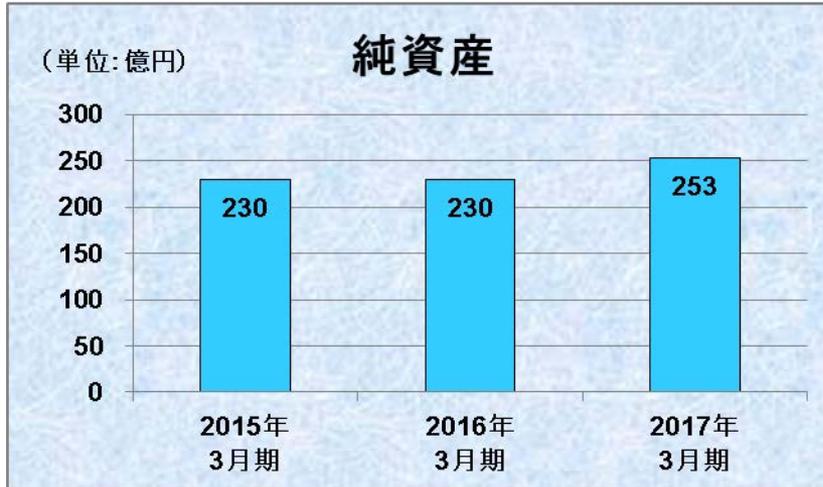


4. 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2016年 3月末	2017年 3月末	前期比		2016年 3月末	2017年 3月末	前期比
資産の部				負債の部			
流動資産	70,426	72,351	1,924	流動負債	40,835	45,195	4,359
受取手形及び売掛金	24,759	29,113	4,354	内、短期借入金(含むCP)	24,562	29,359	4,796
商品及び製品	30,762	29,089	△1,672	固定負債	30,707	26,804	△3,902
仕掛品	2,143	2,523	380	内、長期借入金(含むCB)	25,177	21,560	△3,616
原材料及び貯蔵品	4,163	5,283	1,120	負債合計	71,542	72,000	457
その他	8,598	6,340	△2,257	純資産の部			
固定資産	24,181	25,040	858	株主資本	23,405	25,301	1,896
有形固定資産	16,972	17,137	165	その他の包括利益累計額	△827	△325	501
無形固定資産	907	496	△411	非支配株主持分	487	415	△71
投資その他の資産	6,301	7,407	1,105	純資産合計	23,065	25,391	2,326
資産合計	94,608	97,391	2,783	負債及び純資産合計	94,608	97,391	2,783

5. 連結財務指標の推移





計算書類

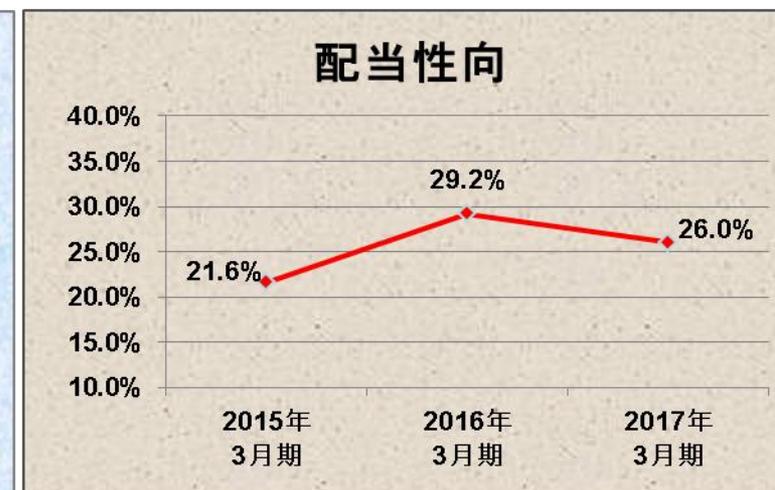
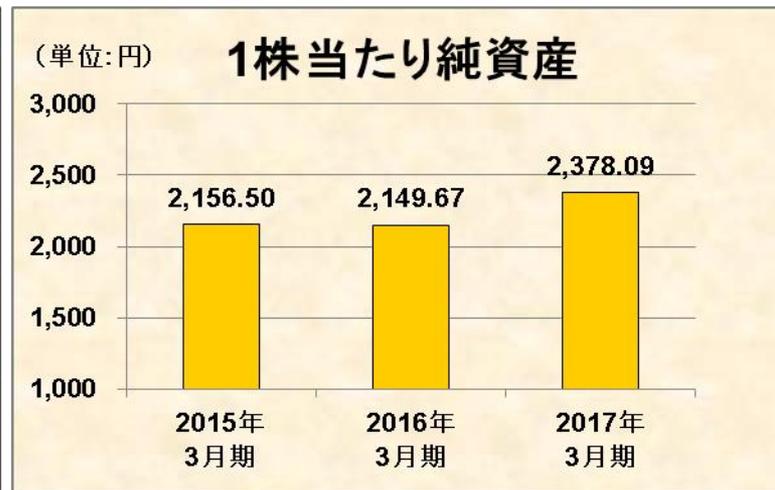
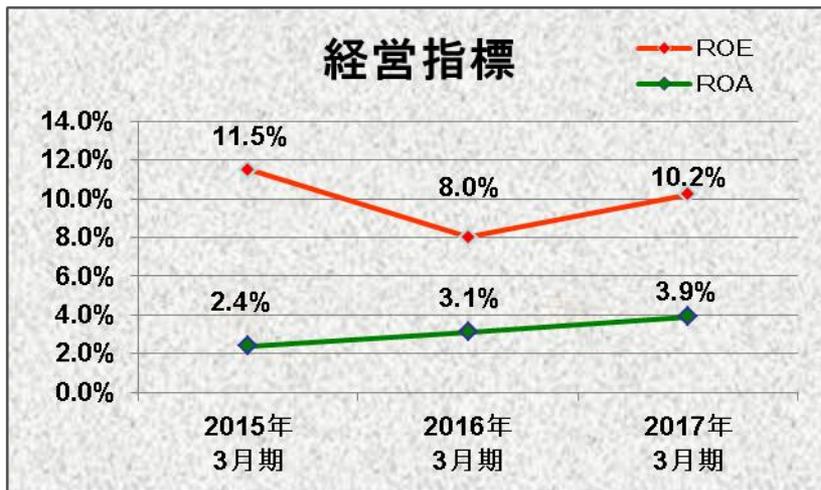


6. 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

		連結累計期間		
		2016年3月期(前期)	2017年3月期(当期)	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	税金等調整前当期純利益	2,561	3,902	1,340
	減価償却費	1,527	1,841	313
	売上債権の増減(△は増加)	△300	△4,792	△4,491
	たな卸資産の増減(△は増加)	△1,239	215	1,454
	仕入債務の増減(△は減少)	1,378	△1,241	△2,619
	その他	△1,238	675	1,914
	小計	2,689	601	△2,087
投資活動による キャッシュ・フロー	固定資産の取得	△5,150	△2,732	2,417
	その他	36	733	697
	小計	△5,114	△1,998	3,115
財務活動による キャッシュ・フロー	短期借入金の増減(△は減少)	△6,943	1,618	8,562
	長期借入れの増減(△は減少)	10,184	△457	△10,641
	その他	△759	△1,055	△296
	小計	2,482	105	△2,376

7. 連結経営指標の推移





計算書類

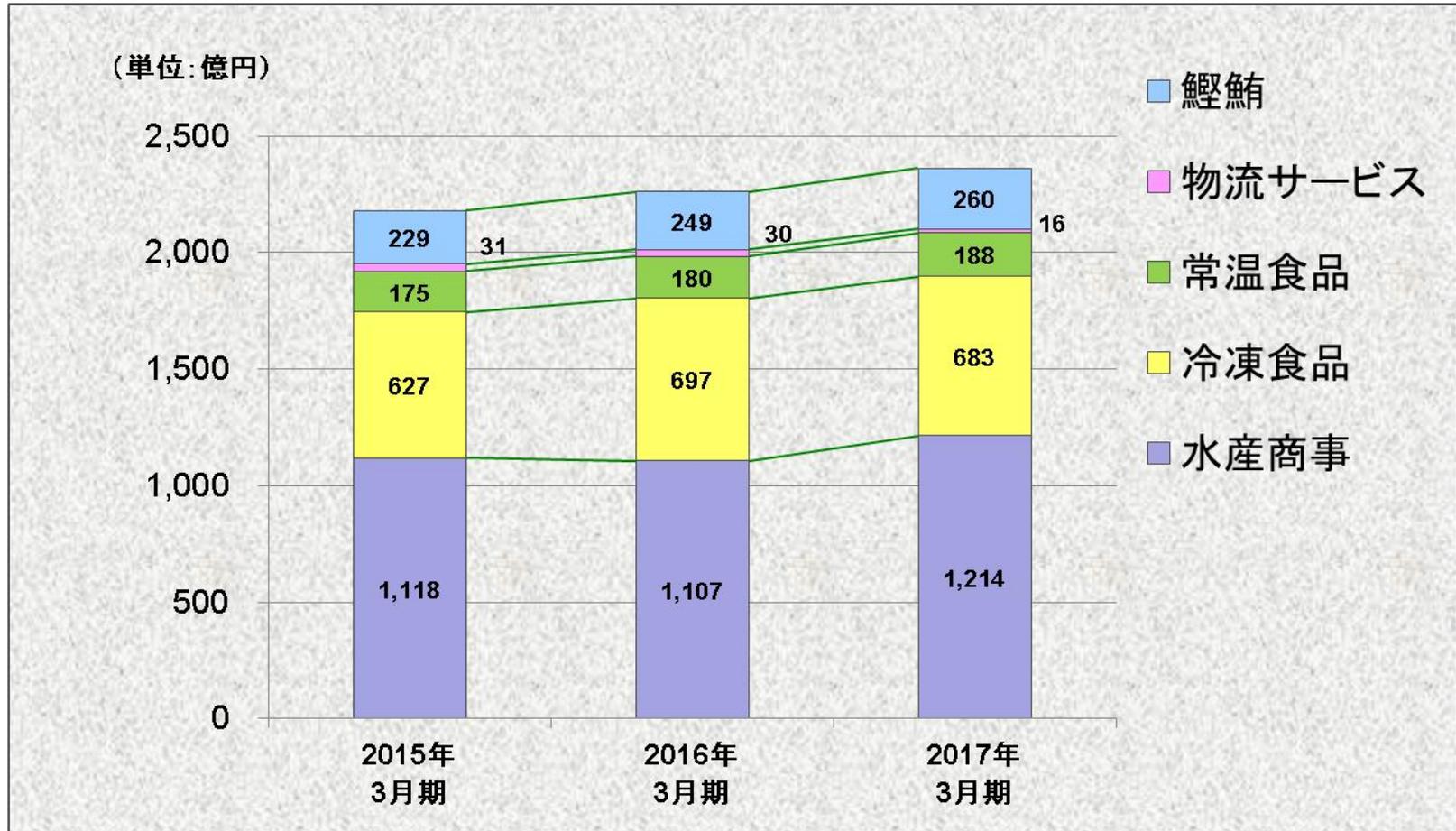


8. 事業セグメント別 売上高及びセグメント利益<連結>

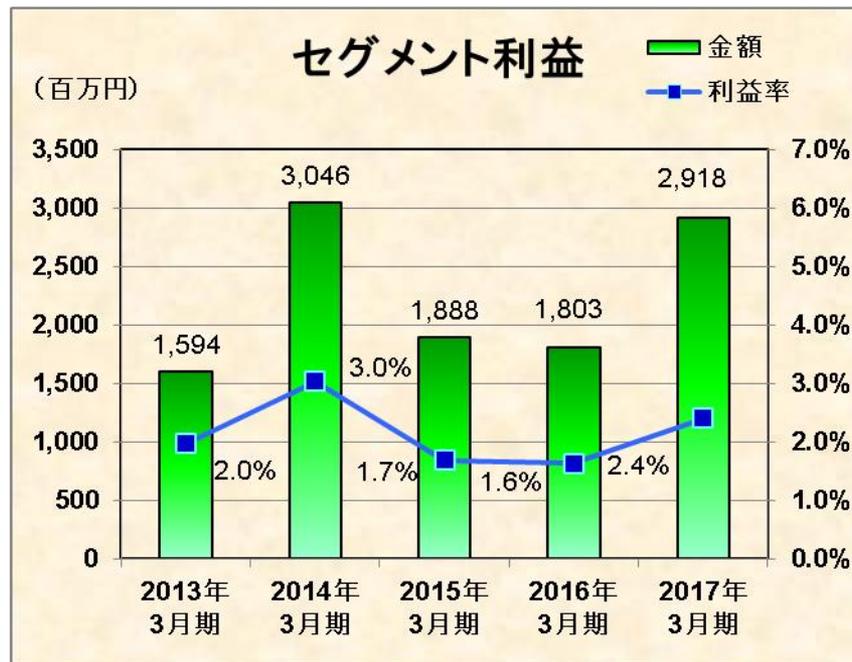
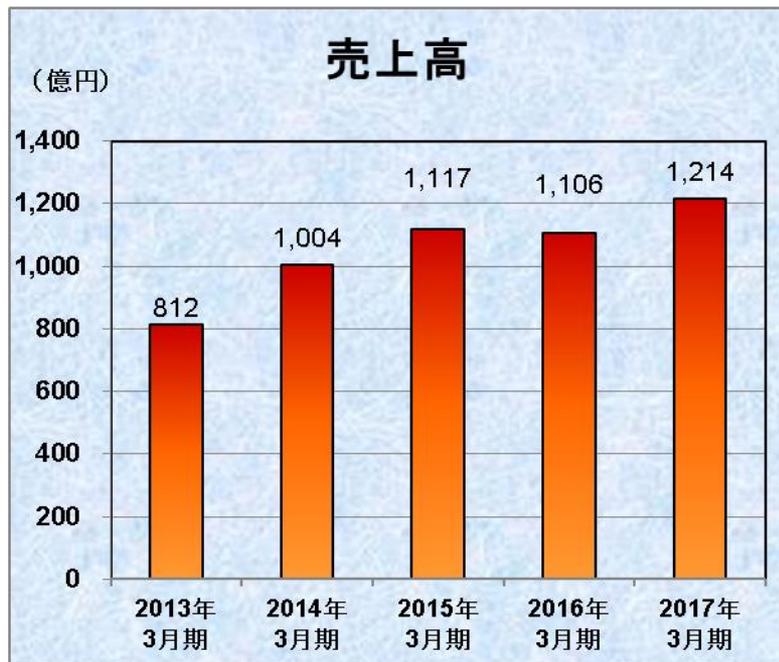
(単位:百万円)

	売上高			セグメント利益		
	連結累計期間		前期比	連結累計期間		前期比
	2016年3月期(前期)	2017年3月期(当期)		2016年3月期(前期)	2017年3月期(当期)	
水産商事	110,690	121,420	10,729	1,803	2,918	1,115
冷凍食品	69,709	68,304	△1,405	166	655	488
常温食品	17,959	18,816	856	391	102	△288
物流サービス	2,958	1,604	△1,354	216	138	△77
鯉・鮪	24,888	26,009	1,120	354	696	342
その他	419	406	△12	△497	△787	△289
合計	226,626	236,561	9,934	2,433	3,723	1,290

9. 事業セグメント別 売上高推移<連結>



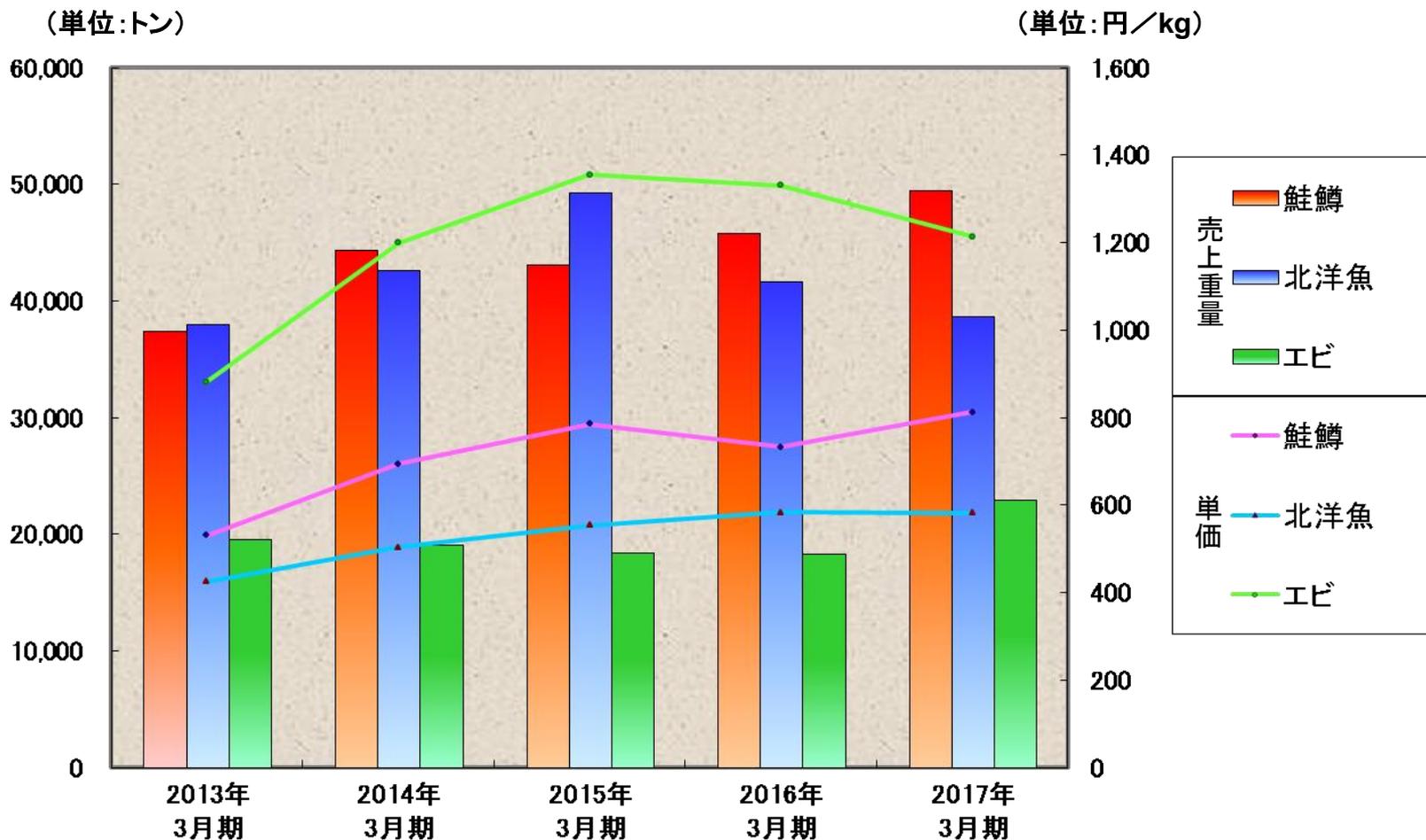
1. 水産商事事業<連結>…水産物の買付及び販売



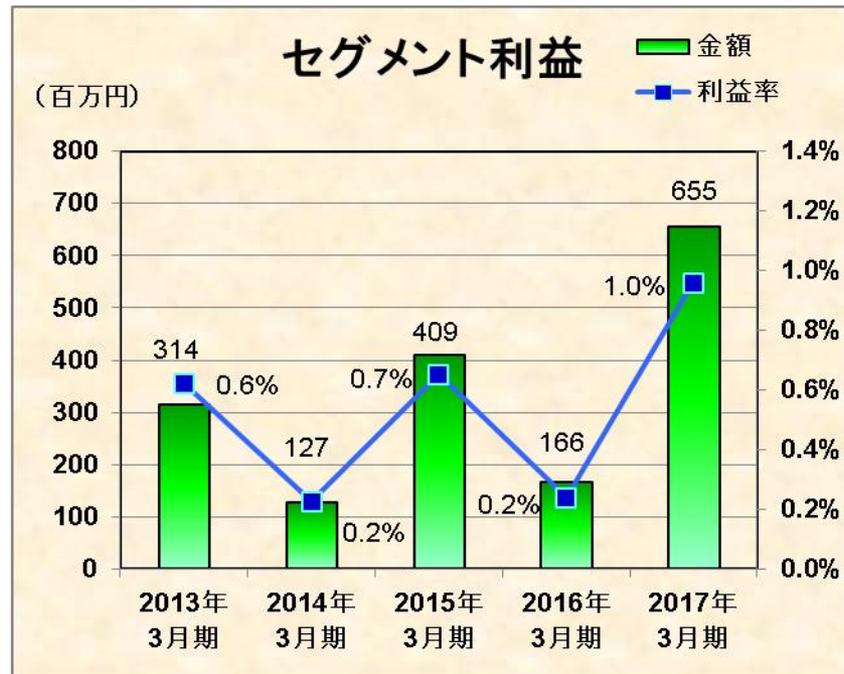
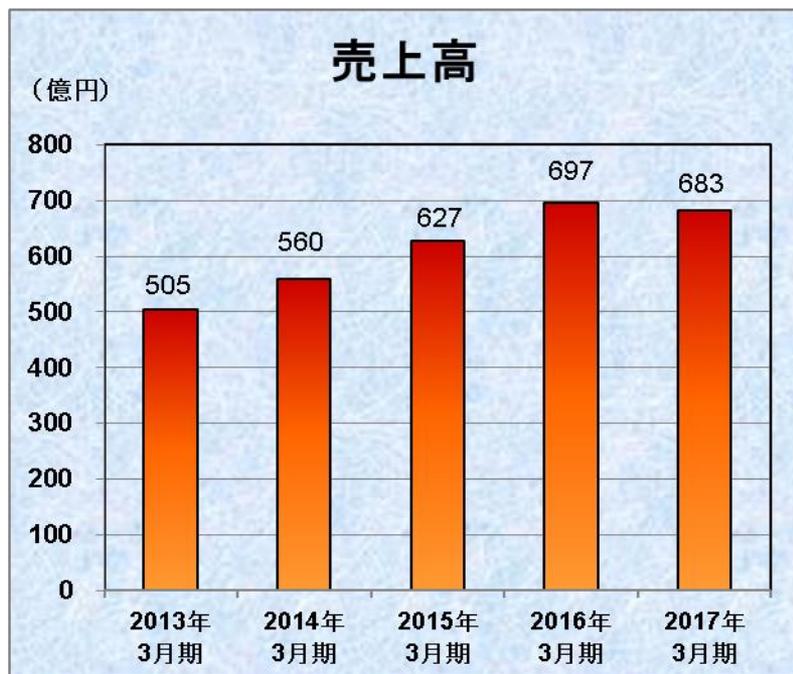
【当期の状況】

- 増収増益
 - チリ銀鮭やエビなどの販売が伸長し収支に貢献
 - 定塩サケ製品や伸ばしエビなどの付加価値製品の販売に注力
 - 環境の変化に対応し海外加工製品の取り扱いを増加

水産商事事業〈個別〉…魚種別売上重量・単価推移



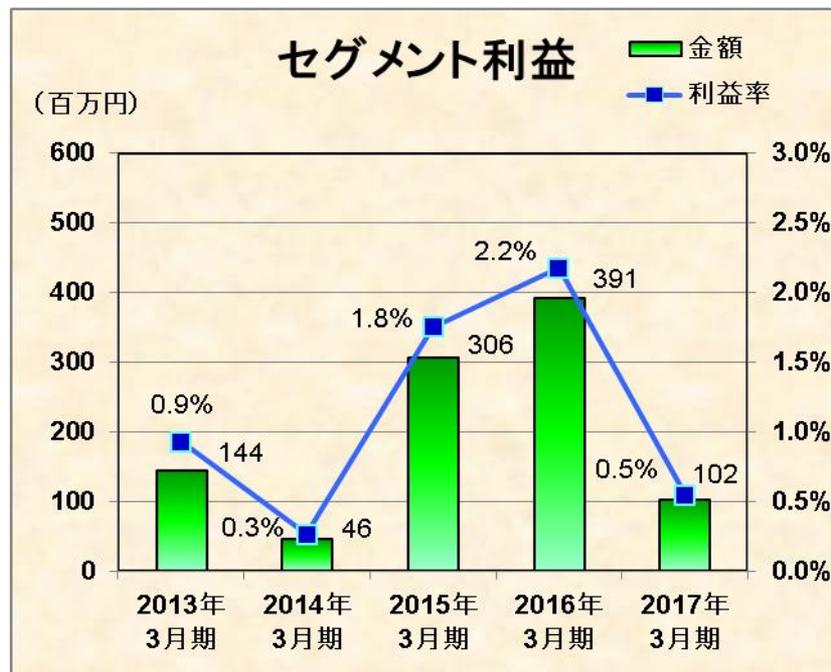
2. 冷凍食品事業<連結>…冷凍食品の加工及び販売



【当期の状況】

- 減収増益
 - 加工原料の取り扱いが減少し、自社製品を中心とした商品販売へ注力
 - 業務用商品「だんどり上手」シリーズの販売が順調に推移
 - カニ風味かまぼこの販売が量販店向けに引き続き好調を維持
 - エビフリッターやエビカツなどの販売が伸長
 - 配送経費の削減と徹底した在庫管理を実施

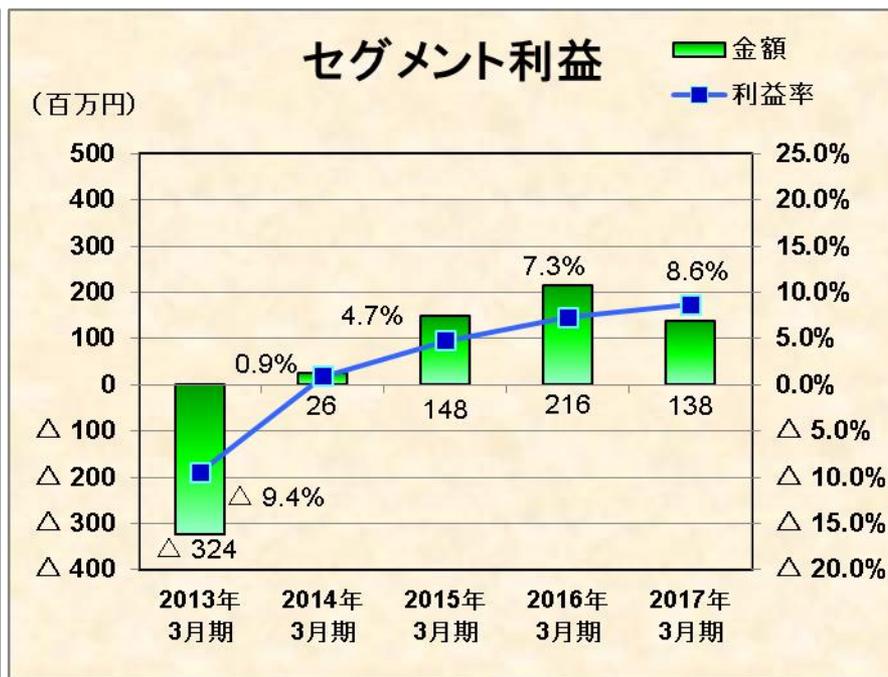
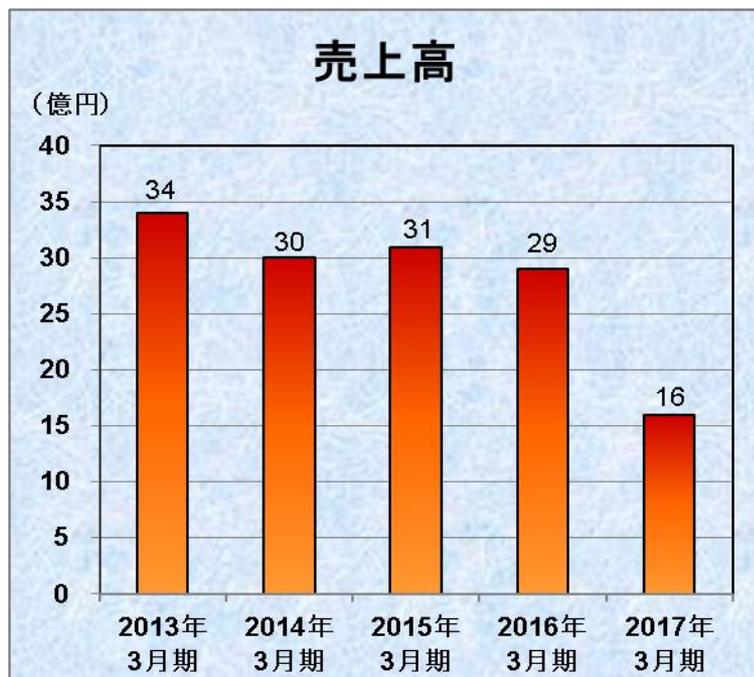
3. 常温食品事業<連結>…缶詰・珍味製品他の加工及び販売



【当期の状況】

- 増収減益
 - 市販用缶詰商品の商品開発に注力
 - イカ原料の不漁により珍味製品の収益が悪化

4. 物流サービス事業<連結>…冷蔵倉庫事業・冷蔵運搬船事業

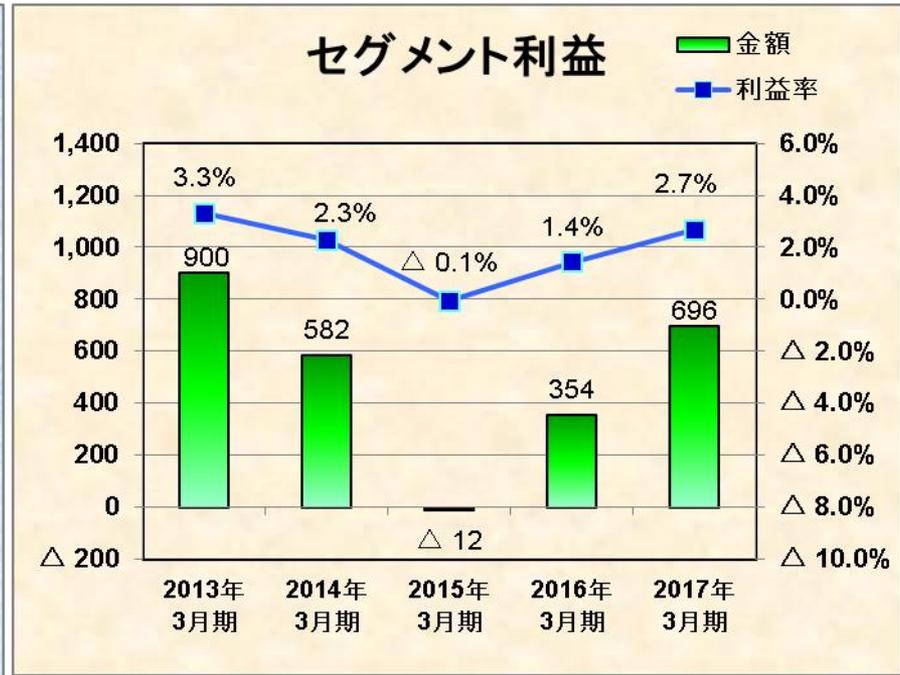


【当期の状況】

□減収増益

- 《冷蔵倉庫事業》
 - 貨物の集荷に積極的に務め料率の改定などを推進
 - ロジスティクス事業を含め業務効率の改善を図り経費を削減
- 《冷蔵運搬船事業》
 - 全船売却により事業を整理

5. 鰹・鮪事業<連結>…海外まき網事業・養殖事業・鰹鮪加工販売事業



【当期の状況】 □ 増収増益

- 《海外まき網事業》 ▶ 魚価が安定するなか高付加価値製品の生産に注力
- 《養殖事業》 ▶ 完全養殖魚の技術向上により沖出し後の生存歩留まりが改善
- 《加工販売事業》 ▶ カツオタタキやネギトロ製品など加工品の生産力を増強

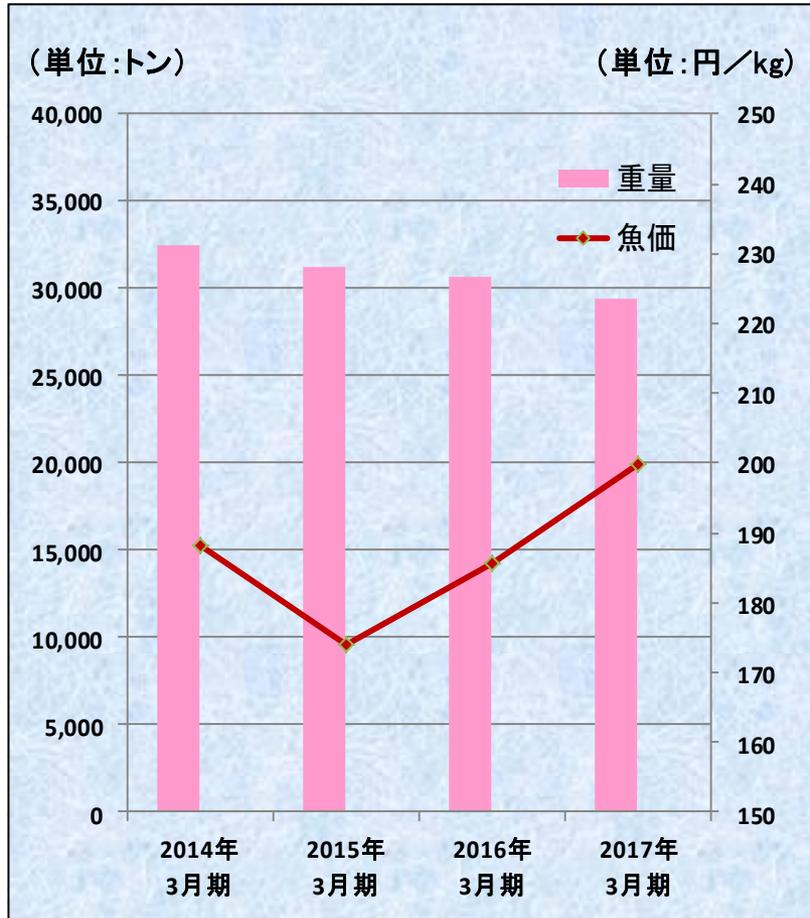


事業セグメント別の状況

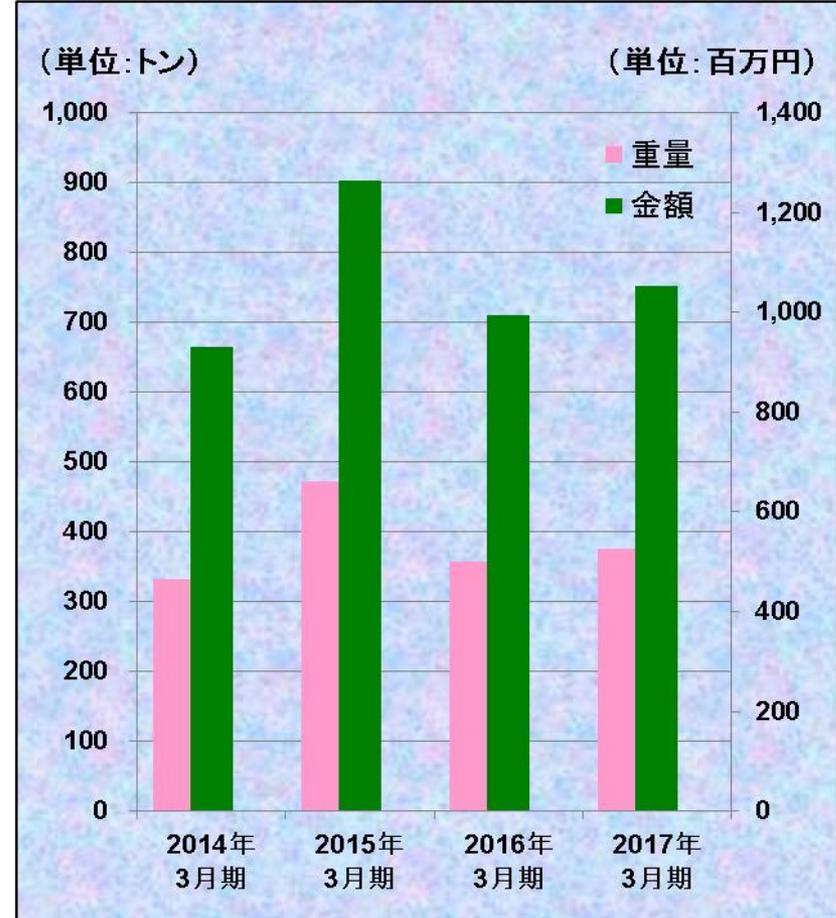


鯉・鮪事業

〈海外まき網事業〉…水揚げ推移



〈養殖事業〉…売上推移





2018年3月期 施策及び業績予想



事業セグメント別の施策



1. 事業セグメント別の2018年3月期施策

【水産商事セグメント】

- 世界的な需給バランスを考慮した仕入、販売、在庫管理
- グループのシナジーを発揮した付加価値商品の製造販売
- 海外拠点との連携による海外マーケットの積極的開拓

売上高:1,230億円(前期比101%)

セグメント利益:2,500百万円(前期比86%)

【冷凍食品セグメント】

- 自社工場を中心としたメーカー志向による一貫体制の確立
- 主要取引先との取り組みと末端への直接商談の推進
- 生産部門のコストダウンと商品開発力の強化

売上高:790億円(前期比116%)

セグメント利益:1,000百万円(前期比153%)

【常温食品セグメント】

- 市場ニーズに沿った缶詰商品の開発
- 通信販売やECサイトなど販売チャネルの多様化
- 効率的な在庫管理による在庫回転日数の短縮

売上高:180億円(前期比96%) セグメント利益:300百万円(前期比291%)

【鰹・鮪セグメント】

- 赤身及び鰹加工製品の生産力増強に伴う販売力の強化
- 地中海本鮪など脂物の取り扱い拡大
- 養殖本鮪の事業規模拡大と完全養殖クロマグロのブランド化推進

売上高:290億円(前期比111%) セグメント利益:900百万円(前期比129%)

【物流サービスセグメント】

- 積極的な貨物集荷による庫腹率の向上

売上高:10億円(前期比62%) セグメント利益:200百万円(前期比144%)



業績予想



2. 連結業績予想

(単位:百万円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 予想	前期比	
			(増減金額)	(増減比率)
売上高	236,561	250,000	13,438	5.7%
営業利益 (営業利益率)	3,723 (1.6%)	4,000 (1.6%)	276	7.4%
経常利益 (経常利益率)	3,709 (1.6%)	4,000 (1.6%)	290	7.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,422	2,700	277	11.4%



業績予想



3. 事業セグメント別業績予想〈連結〉

(単位:百万円)

	売上高			セグメント利益		
	2017年3月期 実績	2018年3月期 予想	前期比	2017年3月期 実績	2018年3月期 予想	前期比
水産商事	121,420	123,000	1,579	2,918	2,500	△418
冷凍食品	68,304	79,000	10,695	655	1,000	344
常温食品	18,816	18,000	△816	102	300	197
物流サービス	1,604	1,000	△604	138	200	61
鯉・鮪	26,009	29,000	2,990	696	900	203
その他	406	0	△406	△787	△900	△112
合計	236,561	250,000	13,438	3,723	4,000	276



設備投資計画



	概要	2017年3月期 実績	2018年3月期 計画
極 洋	新工場建設関連	6億円	2億円
	生産工場関連	1億円	2億円
	研究所関連	0億円	1億円
	養殖事業海上	0億円	2億円
	IT関連その他	3億円	6億円
	計	10億円	13億円
関係会社	生産工場関連	13億円	10億円
	まき網事業関連	1億円	2億円
	養殖事業海上	1億円	1億円
	IT関連その他	0億円	3億円
	計	15億円	16億円
合計		25億円	29億円



本資料は、2017年3月末までの業績及び今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的として作成しており、必ずしも投資をお勧めするものではありません。

本資料に含まれる業績予想及び将来の予測は、現時点で入手される情報に基づくものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

したがって、実際の業績は、様々な要因により、これらの予想と異なることがありますのでご承知おきください。

当資料に対する問い合わせ窓口

株式会社 極 洋 企画部 電話03-5545-0703

本資料は株式会社極洋が作成したものであり、内容に関する一切の権利は当社に帰属します。複写及び無断転載はご遠慮ください。